

(様式例)

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・2年生では、段落の役割や構成を理解する問題演習を行ったことで、「説明的な文章の内容の読み取り」で、目標値を上回った。
- ・3年生では、ワーク等と活用し問題演習を行ったことで、「文章を書く」ことの中で、「読み取った内容を明確に書いている」が3.8ポイント向上した。

(2) 課題

- ・1年生では、漢字を正しく読み書きできる力と説明的文章の読解力を育てる必要がある。
- ・2年生では「読み取った内容を明確に理解して書く」ために、字数を決めた要約課題の充実を図る。
- ・3年生では、「文章を読んで理解したことを知識や経験と結び付け自分の考えを深める」力を育てるために、作文課題の充実を図る。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	目標値▼1.6 領域「読むこと」が目標値より、5.1下回っていた。		
第2学年	目標値▼4.2 全体では4.2下回っており、基礎・活用では「基礎」が3.3、「活用」では6.1下回っていた。	目標値▼2.0 領域「読むこと」が目標値より0.7上回っていた。 (第1学年時)	
第3学年	目標値▼1.3 全体では1.3下回っており、基礎・活用では「基礎」が1.6、「活用」では0.7下回っていた。	目標値△2.8 領域「読むこと」が目標値より1.6下回っていた。 (第2学年時)	区全体▼8.2 「話すこと・聞くこと」の正答率が低いですが、その他の項目では全て目標値を上回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▼2.1 漢字の読み書きでは、目標値を下回っているが、文法・語句に関する事項では、目標値とほぼ同等である。	目標値▼2.1 説明的文章の読み取りが、目標値より下回っている。文章を書く問題では、目標値を上回っている。	目標値▼2.5 インタビューの内容を聞き取る問題や、身近な地域について調べて発表する問題で目標値を下回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▼4.3 漢字の「読み」では目標値を上回っている項目もあるが、「書き」では、多くの項目で下回っている。文法・語句に関する事項では、多くの項目で下回っている。	目標値▼3.4 説明的な文章の読み取りが目標値を上回っているが、文学的な文章の読み取りでは目標値を下回る項目が多い。	目標値▼9.8 文章を書くことの中でも「読み取った内容を明確にして書いている」項目で目標値を大きく下回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▼0.4 漢字の読み書きでは目標値を上回っている項目もあるが、文法・語句に関する事項では多くの項目で下回っている。	目標値▼2.1 「説明的な文章の中で、文章全体を部分との関係に注意しながら内容を捉える」との項目が目標値を下回っている。	目標値▼3.6 「文章を読んで理解したことを自身の経験や知識を結び付ける」項目や、「読み取った内容を明確に書いている」項目が目標値を下回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きに課題があるため、授業や自宅学習で漢字の練習を習慣化し、定着を図る。	説明的文章の読み取りでは、段落の役割や構成を理解することに重点を置き、問題演習も行う。	資料を活用したり、条件に従って、文章を書いたり、発表したり、自分の考えを論理的に表現する力を育てる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の書きに課題があるため、小テストを活用し、漢字の定着を図る。	文学的な文章の読み取りでは、描写を基に登場人物の心情を理解することに重点を置く。	文章から読み取った内容について、字数を決め、要約を行う。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文法事項の既習事項、歴史的仮名遣いの既習事項の復習を行う。	説明的文章の問題演習を行い、文章全体を部分との関係性について重点的に指導を行う。	自身の知識や経験を踏まえた構成で作文が書ける作文課題の作成を行う。